



「異国文化と新興勢力に学び、 グローバル人材へのステップを踏み出そう！」

校長 遠藤 克則

現在、著しいグローバル化の進展により、お金やモノ、労働力などが国境を越えて世界中に広がっています。また、商品やサービスの取引、海外への投資が増大することで、各国の経済的な結び付きが強まり、ものづくりの世界においても、設計から試作、製造、販売までを一つの国だけで賅うことは少なくなっています。このようなグローバル化の進展は、安価で豊富な労働力を有する新興国の台頭を促しました。そして、急速な経済成長を遂げた国々が、国際社会での発言力を高め、世界のパワーバランスに大きく影響しています。とりわけ東アジア諸国の成長は目覚ましく、日本もそれら国々とのつながりが益々重要になってきています。

現在、このような時代を担うグローバル人材を育成するための様々な支援事業が実施されており、例えば、静岡県にはモンゴルへの高校生派遣事業や、インドネシアやタイ等における海外インターンシップなどがあります。本校が毎年実施している海外研修旅行も、グローバル人材育成の一翼を担うことを目的としており、同窓会と後援会にも御理解をいただき、渡航経費を補助していただいています。

海外研修旅行の今年の訪問先は台湾です。台湾は、これからの日本のものづくり産業を考えるうえで欠かせない貿易相手であり、近年の産業構造・技術の進展には目を見張るものがあります。昨年は、世界に冠たる日本の家電メーカーが、台湾企業の傘下に入るという事態が生じています。また、この原稿を作成している最中に、国内の液晶パネル大手が中国と台湾の企業連合の傘下に入ることに合意したというニュースが飛び込んできました。これにより、政府主導の「日の丸液晶」構想が頓挫し、事実上国内の液晶産業は消滅するといわれています。

本校が、一昨年、創立 10 周年を契機に国立羅東高級工業職業学校（以下、羅東工業高校）と姉妹校締結したのも、このような新興勢力としての台湾を重視し、交流を深めつつ、その実情を学ぶ必要があると考えたからです。羅東工業高校は、機械や電気、情報、建築等の工業系 7 学科を有する生徒数約 1,600 人（本校の約 1.5 倍）の大きな学校です。また、大学等への進学率が高く、サッカーや野球などのスポーツも盛んで、本校とよく似ています。昨年は 11 月に来校し、本校の生徒とゲームをしたり、金属鶴やキーホルダー作りをしたりして交流しました。本年も同様に実施する予定ですが、それに先立って、8 月に出向き、交流を深めていただくことにしました。

ここで、改めて台湾の基本を紹介しましょう。面積は日本の九州とほぼ同じですが、熱帯と亜熱帯の気候が育んだ豊かな森林もあります。その自然風景は変化に富んで美しく、

16世紀の大航海時代に台湾を目指したポルトガル人は、「イル・フォルモサ（麗しの島）」と呼んだそうです。歴史的には、オランダや郭成功、清朝、日本と相次いで外国勢力による統治を経験していますが、日本人にはとても優しく、道案内などにも快く応じてくれるそうです。台湾に東洋一といわれるダム建設をした日本人技師「八田與一（はった よいち）」の感動秘話が今でも語り継がれており、台湾の教科書に写真入りで紹介されているそうです。人口の98%を占めるのは漢民族ですが、14の原住民部族が存在し、大陸各地の中国文化と原住民族の伝統、統治時代の日本文化などがからみ合い、多彩な台湾カルチャーが生まれました。経済面では、多難な時代を経て急速な発展を果たしており、パソコン機器に代表される電子工業と自転車産業は世界トップレベルの技術と貿易実績を有しています。台北と高雄の新交通システム（MR T）、南北を結ぶ新幹線など、近代的な交通網も整備されています。

羅東工業高校がある宜蘭（ぎらん）県は台湾の北東部にあり、空の玄関「桃園空港」からバスで約2時間で行くことができます。また、そこから少し北に上がると、ジブリ映画「千と千尋の神隠し」でお馴染みとなり、世界中から観光客が押し寄せている「九份」という大人気の観光地があります。そこで、今回の海外研修旅行では、羅東工業高校との交流と併せて、「九份」や近代都市となった首都台北の市内観光、そして企業見学なども行い、台湾の文化に触れるとともに、近年急速な発展を遂げた現地の産業や日本との貿易関係などについても学ぶ機会を設けます。

さあ、この機会に是非、台湾の高校生と友好関係を築くとともに、台湾の多彩な文化を堪能しつつ、グローバル人材へのステップを踏み出しましょう。海外研修旅行の日程等、詳しくは説明会でお伝えします。皆さん、積極的に参加してください。

海外研修について

本校では、主に下記の海外研修を本校生徒に推奨しています。異文化体験や国際交流を通じて、国際感覚を磨き、グローバルな視野を広げたり、海外の企業訪問することで将来、就職し、企業で活躍できる人材となれるよう、この機会を捉えることをお勧めします。（主に2年生対象）

【全国工業高等学校長協会主催 ベトナム社会主義国訪問】

【静岡県教育委員会主催 高校生インターンシップ 訪問先(国)未定】

【静岡県教育委員会主催 モンゴル国との高校生総合交流事業】

詳細な日程は、クラス担任の先生を通してお知らせし、また募集要項は教室内に掲示されています。是非、確認し、御家族と相談して応募して下さい。多くの生徒が参加希望を表明してくれることを期待しています。その他の海外研修のお知らせに関しても、随時掲示していきます。

静岡県立科学技術高等学校 国際化推進室 通信 平成31年度 第1号 2019年4月

国際化推進室では、職員・生徒の「国際化」をめぐる様々な体験や知見を発信していきたいと考えております。本号に関して感想をお寄せいただければ幸いです。

〒420-0813 静岡市葵区長沼 500 番地の 1 静岡県立科学技術高校 TEL:054(267)1100 FAX: 054(267)1123